

講義科目名称	英語コミュニケーション研究 VI	副題	Language and Social Interaction
英文科目名称	English Communication Studies VI		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2単位	必修選択
担当教員			
荒野南南			

英語コミュニケーション	講義
添付ファイル	

授業種類	実務経験のある教員等による授業科目 ☐ 実務経験のある教員による授業科目 ☐ 実務家を招へいして実施する授業科目 実務経験・授業での活用、招へいする実務家等
	授業で使用する言語 ■ 日本語 ■ 英語 ☐ その他
アクティブラーニング ■ アクティブラーニング要素を取り入れている	
授業の内容（概要）	エスノメソドロジー・会話分析における記述について学ぶ。とくに今年度は後期カー・フィングルの主要な議論を読んだあと、後期ヴィトゲンシュタインの言語ゲーム論とハーヴィー・サックスの行為の理解に関わる議論を中心に探究する。また講義においては適宜関連する文献も読んでいく。授業形式は反転授業の形式を取る。事前課題を利用し、受講者同士あるいは教員を含めた議論を行う。双方向あるいは多方向に行われる議論を通して内容を深く理解していく。
授業の目的	このコースは、英語でのコミュニケーションに関する研究のうち相互行為の分析の専門的な研究を行います。国際コミュニケーション研究科の定めるDP1とDP3の達成に関与している。
到達目標	(a)録音・録画されたデータの中から現象を特定し、(b)相互行為の参加者にとつての見通しのよい記述を行えるようになること、そして(c)それらを論理的にアウトプットできるようにすること
授業計画	第1回オリエンテーション 初回までに事前課題を提出してもらい、その検討を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第2回ガーフィンケル読解(1) 『エスノメソドロジー研究』第1章「エスノメソドロジーとは何か？」の議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第3回ガーフィンケル読解(2) 『エスノメソドロジー・プログラム』第1章「エスノメソドロジーとは何か？」の議論の続きを行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第4回ガーフィンケル読解(3) 『エスノメソドロジー・プログラム』第6章をもとに「生活世界における行為と活動の規範」の議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第5回ガーフィンケル読解(4) 『エスノメソドロジー・プログラム』第6章の議論の続きを行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第6回言語ゲーム論(1) エスノメソドロジーと言語ゲーム論について議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第7回言語ゲーム論(2) 言語ゲーム論について議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第8回言語ゲーム論(3) 言語ゲーム論について議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第9回言語ゲーム論(4) 言語ゲーム論について議論を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第10回ハーヴィー・サックス読解(1) ハーヴィー・サックスの『講義』から議論します。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第11回ハーヴィー・サックス読解(2) ハーヴィー・サックスの『講義』から議論します。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第12回ハーヴィー・サックス読解(3) ハーヴィー・サックスの『講義』から議論します。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第13回ハーヴィー・サックス読解(4) ハーヴィー・サックスの『講義』から議論します。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第14回ハーヴィー・サックス読解(5) ハーヴィー・サックスの『講義』から議論します。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
	第15回テスト 筆記試験を行います。（双方向または多方向に行われる討論を伴う授業）
テキスト	1. Garfinkel, H. (1967). Studies in ethnomethodology. Polity. 2. Garfinkel, H. (2002). Ethnomethodology's program: Working out Durkheim's aphorism (A. W. Rawls (Ed.)). Rowman & Littlefield Publishers. 3. Sacks, H. (1992). Lectures on conversation (G. Jefferson (Ed.)); Vols. 1 & 2). Basil Blackwell.
テキスト購入方法	4. Wittgenstein, L. (2009). Philosophical investigations (P. M. S. Hacker & J. Schult (Eds.)); G. E. M. Anscombe, P. M. S. Hacker, & J. Schult (Trans.); 4th ed.). Wiley-インターネットおよび書店にて購入できます。電子書籍版、ハードカバー版、ペーパーバック版のどれを使用しても構いません。
参考文献	1. D. フォン・レーン（荒野ほか編・訳）『ハロルド・ガーフィンケル』（新曜社） 2. Schegloff, E. A., Ochs, E., & Thompson, S. A. (Eds.). (1996). Interaction and grammar. Cambridge University Press. https://doi.org/10.1017/CBO9780511620874 3. Baker, G. P., & Hacker, P. M. S. (2007). Wittgenstein: Understanding and Meaning: Part I: Essays (Vol. 1). https://doi.org/10.1002/9780470752807
成績評価の方法	課題50% テスト50%
教員への連絡方法	メールにてご連絡ください。
履修上の注意	毎回の授業で読書課題と分析課題が出ます。毎回の課題は必ず提出することが単位認定の必要条件です。 初回授業までの事前課題があるので受講前にメールにてご連絡ください。また実際にご自身で録音・録画データの分析やフィールド調査の経験があることが望ましい。
授業外学修情報（予習復習）	事前学習：テキストの予定箇所、参考文献について、事前にとっかかり読み込んでおく。 事後学習：授業で学んだことを復習し、理解を深める。 1学期の授業外学修時間：合60時間（1回の授業にあたり合計約4時間の予習・復習）
学生へのメッセージ	